

附桃中同窓会 評議員会 議事録

日時 2026 年 6 月 27 日（土） 13:30 ～ 16:30

場所 京都市伏見いきいき市民活動センター（京都市伏見区深草加賀屋敷町 6-2）

出席者 30 名（敬称略）

(08) 伊吹興一郎	(09) 柴田道生	(10) 寺井昌利	(10) 山田晏子
(11) 塩見哲	(11) 笠川町子	(13) 安岡俊彌	(14) 竹村一志
(17) 中川陽之助	(20) 大島仁	(21) 瓦谷泰浩	(22) 田村直樹
(22) 田中真須美	(23) 川端廣己	(23) 甲斐絢子	(26) 三谷公人
(28) 橋本済	(28) 藤田路乃	(28) 寿栄松憲宏	(34) 菱田真
(38) 西井裕子	(40) 平杉嘉平太	(42) 小野明倫	(42) 片岡志野
(45) 桐村慶二	(51) 山口真希	(58) 渡辺直人	(58) 春山千秋

（リモート）

(04) 田中勝彦 (33) 斎藤真由美

評議員会

議題

(ア) 「2025 年度活動報告」（別紙参照）・・・田村会長

- ・ 10/23、24 の中学校との連携事業（文化祭におけるポスター展示）及び卒業生による文化祭見学では田中理事（ポスター対応）、川端理事、田中副会長、田村会長（見学対応）が担当した。今年度も 17 期から 49 期までの幅広い卒業生の方々の見学があった。来年度も中学校に部屋を準備して頂き、見学者同士の交流をして頂ける場の提供を図っていきたい。
- ・ 学校評議員会は中学校幹部、地域代表、育友会会長、同窓会会長、近隣の中学校校長等が出席して中学校に関する意見交換を行う場である。中学校からは、上海の中学校とホームステイの交換を行った事や教員 4 名削減に対しては大学側配慮により補充があった事についての報告があった。
- ・ 同窓会入会式では田村会長、田中副会長が出席し、同窓会の良さ、例えば両親・恩師以外にも経験豊かな先輩たちとの交流が出来、様々なことが学べる場である事などを伝えた。

(イ) 「2025 年度会計報告」（別紙参照）・・・中川理事

- ・ 初めて評議員会参加の方も多いので「同窓会運営については、卒業生同窓会入会金一人 5000 円のみで賄われている」ことを説明。
- ・ 文化祭ポスター展示等「企画事業費 0 円」となっているのは、年度末に各担当者に照会したが申請がなかったためと説明。

(ウ)「2026 年度活動計画」(別紙参照)・・・田村会長

- ・ 来年度の総会・評議員会は「つゆ草の集い」開催に向けての作業割り当て等の準備も行いたいので、5 月中旬(5/15 (仮))開催を予定。

(エ)「2027 年 親睦会“つゆ草の集い”」について・・・田村会長

- ・ 今年早々から便利の良いターミナル駅周辺のホテル 5、6 社に打診を行ったが各ホテルとも良い返事がなく、ホテルグランヴィア京都のみ予約が取れた。
- ・ 日程については、中高一貫となり全員が附属高校に進学するので、附属高校の定期試験期間を外して決定した。

日程 2027 年 6 月 6 日 (日) 12:00 ～ 15:00

場所 ホテルグランヴィア京都

会費 社会人 12,000 円 (1 期～15 期) 5,000 円

大学生 5,000 円

高校生 3,000 円

- ・ 内容については、催し物よりも皆さんが歓談できる自由時間を増やしたい。
- ・ 歓談するきっかけとすべく、参加者に差しさわりの無い範囲で事前に「恩師の名前」、「加入していたクラブ」、「趣味」、「職業」等を書いて頂き、当日の参加者に配布することを考えている。
- ・ 前回同様、恩師には 1 テーブルに集まって頂くのではなく、教え子のいるテーブルに分かれて座って頂く予定である。

主な意見

- ・ 前回受付を手伝ってみて、「当日キャンセル」、「当日急な出席」が数名いた。たまたま人数が相殺されたので全体費用への影響は少なかった。キャンセル料については徴収することが案内状に記載されており実行する場合もある。受付作業責任者等については、役割分担の時にきっちり決めておく必要がある。また、自分の期が解っていない人達への対策も必要。
- ・ 「3 年前と比べても、各ホテル値上げをしているので、この値段は仕方がない」、「グランヴィアのように長時間使わせてもらえる会場はない。立地的にも遠方から参加しやすい」、「色々考えてもホテルグランヴィアが妥当だと思う」という賛成意見があった。
- ・ 「高校生 3000 円について、潤沢な資金があるので、安くしては？」という

意見については、「以前は、同窓会はどんなものかを知ってもらう目的で、高校生の参加者を増やすべく 1000 円という時もあったが、金額が安すぎたため為かは分からないが、ドタキャンが多く困った事があるので、3000 円で良いのでは」という意見が出た。

- ・ これらに関しては、中学校の募集定員が減った（136 名→96 名）ことによる同窓会費の減収を見越して、支出も考えていかななくてはならないので、この会費として進めていく。また、親睦会に多くの恩師を招待すると費用がかかる（2024 年度は恩師 18 名参加された。約半数の方からご厚志をいただいた）が、恩師の参加により会が盛り上がった事は大切にしたい、これを定着させるべく次回も招待としたい。ただし「高齢者の割引」、「恩師の招待」等の会費の設定は今後見直す必要があると考えている。
- ・ 今後、親睦会の費用を安くする案として「学校の了解が得られれば、開催場所に中学校を利用する」という方法も考えたい。
- ・ 同窓会費は、平成元年に 3000 円、その後平成 5 年に 5000 円に値上げして以来 30 年間値上げを行っていない。会費値上げについては、父兄から「公立中は 500 円」なのに附属中学校はそんなに高いのという質問があったりしており、現時点では潤沢な資金があるため値上げしにくい。今後の課題。

（オ）新しい体制（別紙参照） 田村会長

- ・ 新任副会長として、23 期甲斐絢子さんに加わって頂きたい。他にも、少なくなっていた理事に、Web 会議などを通じ同窓会に理解のある若い期の方達にも就任していただく事となった。これからも若いやる気のある方に声掛けしていきたい。
- ・ 28 期橋本済氏が多忙の為退任希望があり、同期寿栄松氏を推薦していた。
- ・ ホームページへの原稿掲載手順は、原稿内容を川端さんと甲斐さんでチェック、掲載は寿栄松さんと竹中さんで行う事としている。
- ・ 当面の役割の中には、名前の無い方もいるが、これから親睦会に向けて色々な役割を担っていただこうと思っている。

（カ）今後のアクションについて（別紙参照） 田村会長

- ・ 「6/6 のつゆ草の集い」を皆さんに周知してもらう為に、同窓会として、メールの分かる方達には発信していくが、本日参加の皆さんにも周囲に伝えてほしい。また、恩師の連絡先は十分には把握できていないので評議員の方々にも協力をして頂きたい。

- ・ 「恩師掲示板」のホームページ掲載も現在途絶えている。再開したいので協力してほしい。
- ・ 「中学校ポスター展示」に関して、以前に生徒は3年で卒業するので、3年分作成した物を再利用する話があり、それをホームページ掲載すると再利用しにくくなるので控えてきたという意見があった。ホームページに掲載するかどうかは最終的には事務局の判断に任せるとのことである。
- ・ ホームページ掲載記事に「年月日」を入れた方が分かり易いとの案が出た。

(キ) 名簿の管理作業について（別紙参照）・・・山口理事

- ・ 3年に一度、会報誌発送前に協力可能な各期の評議員の方に名簿更新を依頼している。更新作業に時間がかかる為、この作業を前倒しして、例年の1月スタートから今年度9月スタートにしたい。
- ・ 2024年の会報誌発送時、7096名発送して500名位の「宛先不明」があった。40期から上の期は連絡がつきやすいが、それ以降の期が難しい。1期～79期の幅広い世代では、連絡手段、考え方の違いから、情報収集が難しくなっている。若い期は子育て、仕事が忙しく、同期会もなかなか出来ない世代ではある。また、若い期にはインスタグラムが発信しやすいかもしれない。
- ・ 若い世代は同期とのつながりを求めるが、上下のつながりは求めている、との意見もあった。一方、親睦会に参加した方からは、「先輩方に進路等について相談できて良かった」、「同業者が同窓生にいて、気軽に話ができるようになった」、「先生方から直に学校の状況を聞くことが出来た」等、参加して初めて同期会との違った繋がりを感じてもらえたという意見もあった。
- ・ 前回の「つゆ草の集い」には多くの先生方（現役も含め）の参加があったので大変良かった。その為にも、皆さんに同窓会の情報発信をしていくことが大事だと思う。各期の評議員の方に、同期の方たちへの連絡役として、親睦会開催情報などを伝えてもらえればと思う。一方、同期とは連絡をとっても、同窓会に情報を教えたくない人達も出てきている。
- ・ 名簿更新方法についてはホームページに自身で連絡してくださる方もいる。QRコードにて自身で登録してもらう方法も考える。
- ・ 名簿管理について、現在の管理方法では限界が来ている感じがしている。

(ク) 同窓会会報誌「つゆ草」の発行について（別紙参照）・・・桐村副会長

- ・ 名簿更新作業と同じく、会報誌「つゆ草」発刊作業も、作業を前倒しして行いたい。
- ・ 前回、原稿依頼に時間の余裕が無く、偏った期の原稿掲載となってしまった。

均等に若い期の方にも原稿依頼したいと思っている。

- ・ 前回の会報誌に寄稿された 10 期の山田晏子さんは、中学校が開設した「生き方探究」の活動に協力されており、今年度は「生きる力」について生徒達にお話することになり、坂本丸さんの「心の瞳」を教材としてコーラスに纏めていく予定とのこと。次回の会報誌への原稿を依頼した。
- ・ 会報誌は会員 10 名位の原稿が集まれば良いものに仕上がると思うので、評議員自身で書く、または執筆候補者について周囲の方の推薦してもらいたい。
- ・ 印刷会社については、現在の印刷会社が他では考えられない低コストで請け負ってもらっているので、今回も依頼する。しかし、前回に比べ、発送部数は増え、紙代、人件費等値上がりしており、郵送費も明らかに値上がりする。今後の課題として、郵送と Web 通知の両方を使っていければ費用軽減できると思っているので、どのように Web に誘導していくかも考えなければならない。
- ・ 次回は、前回と同じ方法で作業を進めたいと思う。原稿に関しては年内には集めたいと思うので協力して欲しい。
- ・ 原稿依頼は、自身の連絡のつく範囲の方のみにした方が良い。無理をして同窓会の把握している情報を使つての、原稿依頼は個人情報保護の為にも良くないとの意見があった。
- ・ 「すでにホームページ掲載した同期会だよりを紙面に掲載するのはどうか？」という意見に関しては、出来れば新しい情報を集めたいとの回答。
- ・ 依頼の時の「原稿の文字数 400 字位」については、多少の増減は許容できるが、今回もこの内容で進めたい。
- ・ ホームページに掲載されている卒業生の文化祭見学の報告も、「つゆ草」に掲載しても良いのでは、との意見がでた。
- ・ 発送作業については、従来通り、他に封入したい印刷物がある期は事前に連絡いただき発送してもらう方法を取る。以前のように、学校で封入作業をすることは難しいので、希望の期の方に送り、封入作業、発送までしてもらう

(ケ) その他

- ・ 前回「つゆ草の集い」時、総会、代議員制度について承認されたが、代議員の任期は詳細には銘記されていないので検討する必要がある。

(コ) 審議、決議

- ・ 全ての協議事項について承認された。

附桃中同窓会 総会 議事録

日時 2026 年 6 月 27 日（土） 16:30 ～ 17:00

場所 京都市伏見いきいき市民活動センター（京都市伏見区深草加賀屋敷町 6-2）

出席者 29 名（敬称略）

(08) 伊吹興一郎	(09) 柴田道生	(10) 寺井昌利	(10) 山田晏子
(11) 塩見哲	(11) 笠川町子	(13) 安岡俊彌	(14) 竹村一志
(17) 中川陽之助	(20) 大島仁	(21) 瓦谷泰浩	(22) 田村直樹
(22) 田中真須美	(23) 川端廣己	(23) 甲斐絢子	(26) 三谷公人
(28) 橋本済	(28) 藤田路乃	(28) 寿栄松憲宏	(34) 菱田真
(38) 西井裕子	(42) 小野明倫	(42) 片岡志野	(45) 桐村慶二
(51) 山口真希	(58) 渡辺直人	(58) 春山千秋	

（リモート）

(33) 斎藤真由美 (60) 篠田匡史

総会

(ア) 「2025 年度活動報告」

(イ) 「2025 年度会計報告」

(ウ) 監査報告

- ・ 14 期竹村監事より監査報告があった。

(エ) 「2026 年度活動計画」

(オ) 「2027 年 親睦会 “つゆ草の集い” について」

(カ) 新しい体制について

(キ) その他

- ・ 「つゆ草の集い」は親睦会となったので、会計報告はしない。年に一度の総会にて会計報告する。
- ・ 「つゆ草の集い」の開催年には出来れば総会前に会計資料を 3 年分（3 枚）資料として出してもらえないか」との質問に関しては「毎年の会計を見ればわかるのではないか?」、「つゆ草の集い」の開催年での会計報告は

その年開催の「つゆ草の集い」の会計がすべて含まれないので分かりにくいと思うと」の意見がでた。事務局にて対応を決めることになった。

- ・ 情報セキュリティについては、桐村副会長を中心に詳しい方（菱田評議員たち）を交えて相談することになった。

（ク）審議、決議

- ・ 総会で議論、承認された。